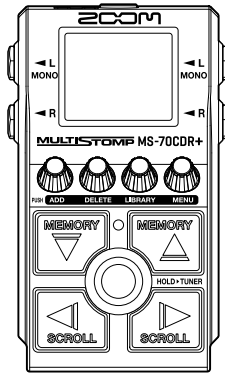


ZOOM®

MS-70CDR+

MULTISTOMP



クイックツアー

製品に関するソフトウェアやドキュメントは以下の Web サイトでご覧いただけます。



zoomcorp.com/help/ms-70cdrplus

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください。

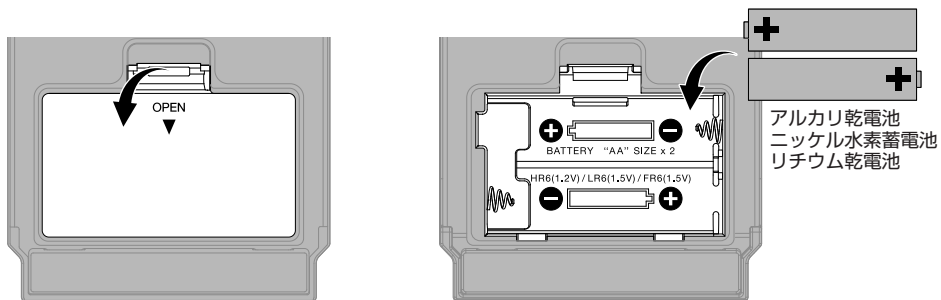
© 2024 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

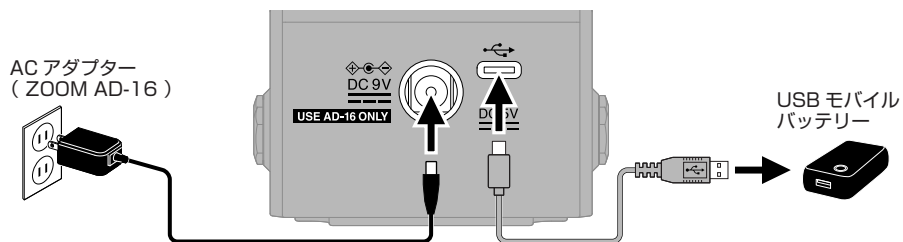
本マニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

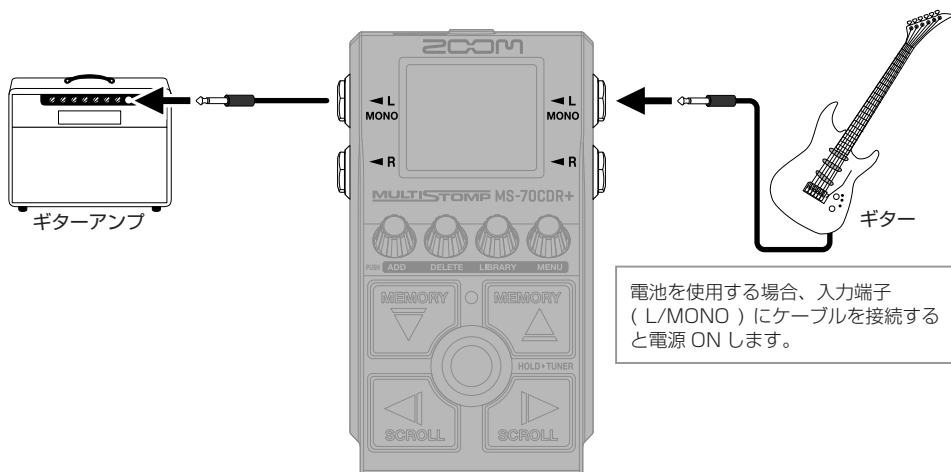
電池を入れる



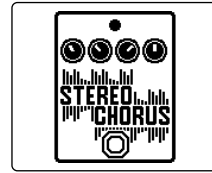
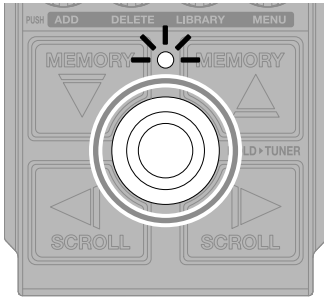
専用のACアダプター（ZOOM AD-16）または市販のUSBモバイルバッテリーも使用可能です。



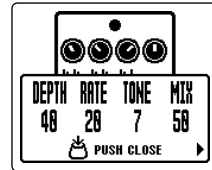
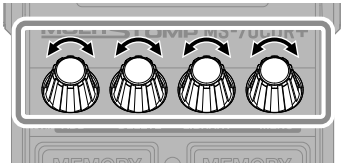
接続して電源を入れる



エフェクトを ON/OFF する

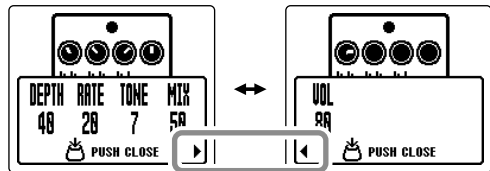
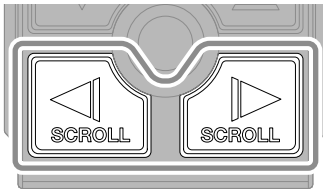


エフェクトを調節する

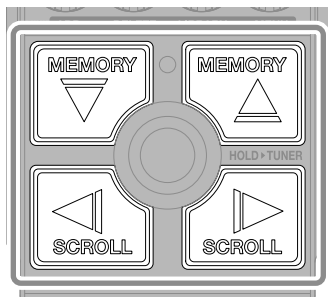
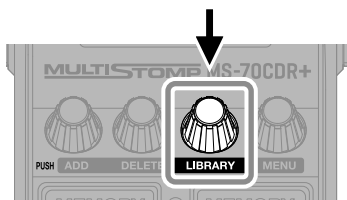


でパラメーター画面を閉じます。

パラメーターが複数ページある時に▶ / ◀が表示されます。



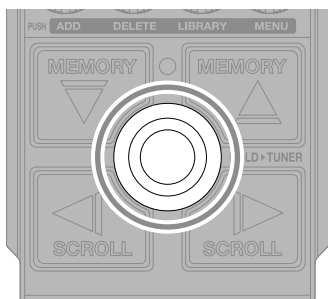
エフェクトを変更する



選択

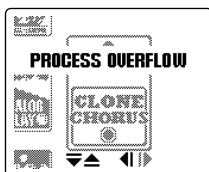


LIBRARY 画面



決定

MS-70CDR+は6つのエフェクトを組み合わせることができますが、処理能力の限界を超えた場合は、下記のメッセージを表示します。この状態を解除するには、いずれかのエフェクトを変更してください。



エフェクトを追加する



選択



決定

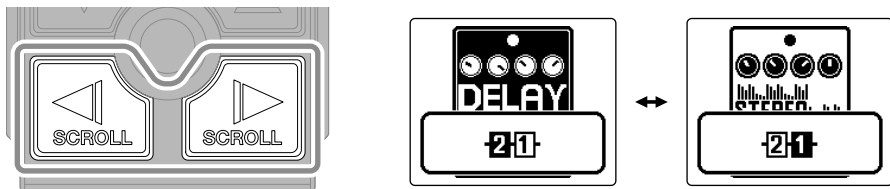


ライブラリーからエフェクトを選択してオリジナルのサウンドを作ってください。

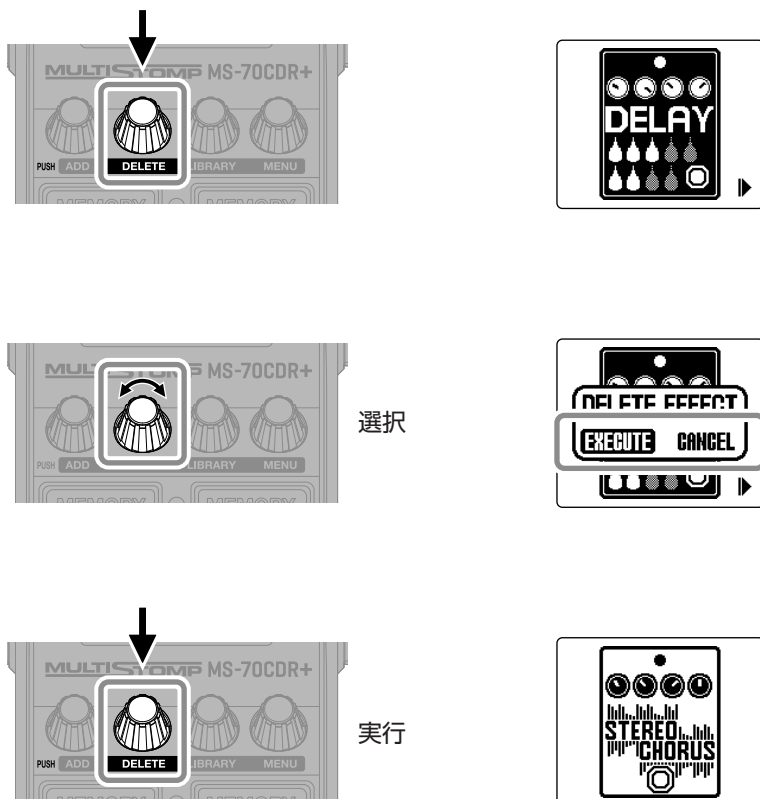
MS-70CDR+ は 6 つのエフェクトを自由に組み合わせることができます。組み合わせの上限を超えてエフェクトを追加しようとした場合は、下記のメッセージを表示します。エフェクトを 1 つ削除してからエフェクトを追加してください。



表示するエフェクトの位置を変える

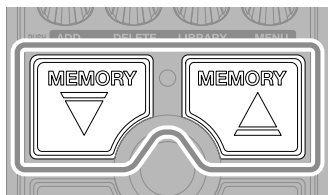
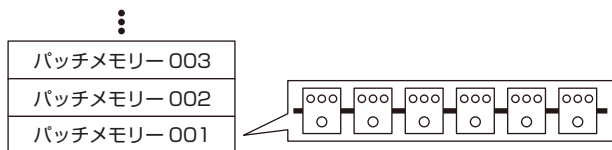


エフェクトを削除する

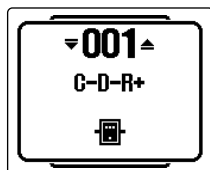


パッチメモリーを切り替える

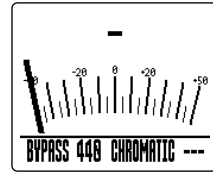
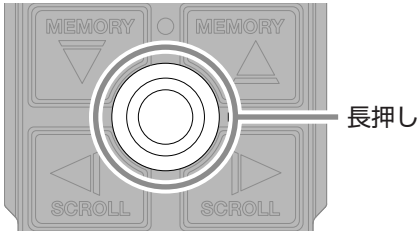
パッチメモリーとは、エフェクトの ON/OFF やパラメーターの設定値を記録したものです。MS-70CDR+ のエフェクトの呼び出しや保存はパッチメモリー単位で行います。1つのパッチメモリーの中で最大6つのエフェクトが使用可能です。



パッチメモリーが切り替わり、様々な音色で演奏できます。



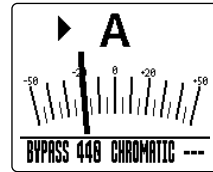
チューナーを使用する



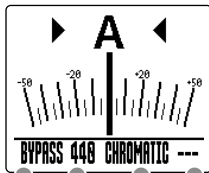
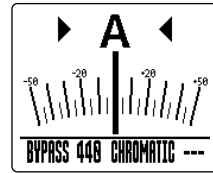
TUNER 画面

フットスイッチを押している間のみエフェクトを ON にするなど、特殊機能が割り当てられているエフェクトを選択している場合には、チューナーは使用できません。

- チューニングしたい弦を開放で鳴らしピッチを調節します。
- 最寄りの音名とピッチのズレを表示します。



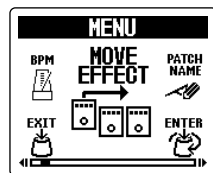
- ピッチが合うと▶◀が表示されます。



チューナーの設定は  で変更できます。

出力音	BYPASS / MUTE
基準音	430 Hz ~ 450 Hz
チューナータイプ	お好みのチューナータイプを選択できます。
フラットチューニング	すべての弦を通常のチューニングよりも半音 (b1)、1 音 (b2)、1 音半 (b3) 下げた状態にチューニングできます。

メニューを使用してできること



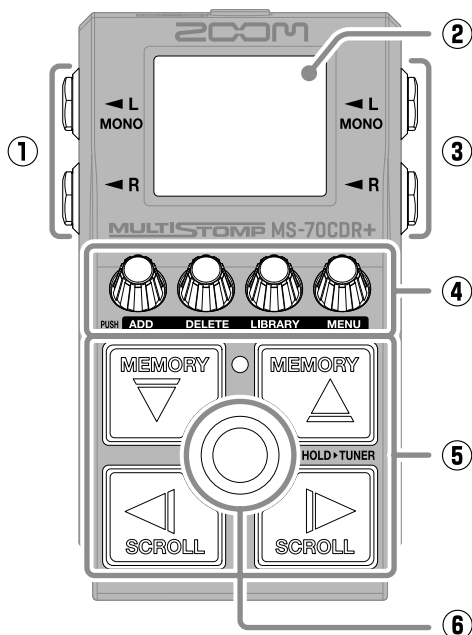
MENU 画面

	ディレイタイムなどのテンポ同期に使用する BPM をパッチメモリーごとに設定できます。		LIBRARY 画面（エフェクト変更時）の出力音を、選択中のエフェクトのみ、またはパッチメモリー全体から設定します。
	エフェクトの並び順を変更します。		USB MIDI を受信するチャンネルを設定します。
	パッチメモリー名を変更します。		電池の種類を設定します。
	変更したパッチメモリーを、選択直後の状態または工場出荷時の状態に戻します。		バックライトの明るさを設定します。
	パッチメモリーをコピーして他の場所に保存します。		ディスプレイのコントラストを調節します。
	パッチメモリーを新たに作成します。		ECO モードの ON/OFF を設定します。
	パッチメモリーを消去します。		工場出荷時の設定に戻します。
	全体の音量を調節します。		ファームウェアのバージョンを確認できます。
	オートセーブ機能の ON/OFF を設定します。		スマートフォンで 2 次元コードを読み取ると製品に関する詳しいドキュメントをご覧いただけます。
	プリセレクト機能の ON/OFF を設定します。		

各機能の詳細については、オペレーションマニュアルを参照してください。

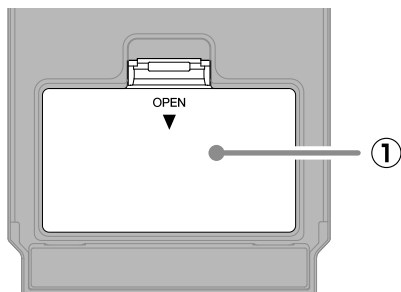
各部の役割

■本体上面



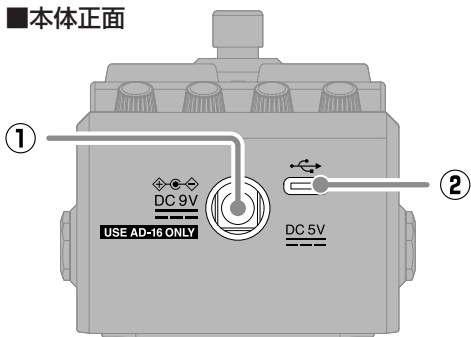
- ① **出力端子**
ギターアンプや他のエフェクターに接続します。
- ② **ディスプレイ**
選択中のパッチメモリーやエフェクト、パラメーターの設定値などを表示します。
- ③ **入力端子**
ギターを接続します。
- ④ **パラメーターノブ**
エフェクトのパラメーター調節、各種設定を行います。
- ⑤ **カーソルキー**
パッチメモリーやエフェクトなどを選択します。
足でも操作できます。
- ⑥ **フットスイッチ**
エフェクトを ON/OFF します。
長押しで、チューナーに切り替えます。

■本体底面



- ① **電池カバー**
単三電池の取り付け／取り外しをするときに開きます。

■本体正面



- ① **DC9V AC アダプター端子**
専用の AC アダプター（ZOOM AD-16）を接続します。
- ② **USB（Type-C）端子**
パソコンや iOS/iPadOS デバイスと接続します。USB バスパワー動作に対応しています。

故障かなと思う前に

電源が入らない

- 接続を確認してください。
- 電池駆動時は、入力端子 (L/MONO) にケーブルを接続してください。

音が出ない、非常に小さい

- 接続を確認してください。
- 各エフェクトのレベルを調節してください。
- アウトプットボリュームを調節してください。
- チューナーの出力設定が“MUTE”になっていないことを確認してください。

ノイズが多い

- シールドケーブルが正常であることを確認してください。
- 純正の AC アダプター (ZOOM AD-16) を使用してください。

エフェクトが選択できない

- エフェクトの処理量が制限を超えている場合、ディスプレイに“PROCESS OVERFLOW”と表示されます。“PROCESS OVERFLOW”と表示されたエフェクトはバイパス状態になります。
- 組み合わせの上限を超えてエフェクトを追加しようとした場合、ディスプレイに“MAX EFFECTS. DELETE ONE.”と表示されます。エフェクトを 1 つ削除してからエフェクトを追加してください。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

iPadOS は、Apple inc. の商標または登録商標です。

IOS は、米国をはじめとする国々における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用しています。

USB Type-C は、USB Implementers Forum の商標です。

文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

文中のイラストおよび表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。



株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

zoomcorp.com